

山口きずな音楽祭 vol.7

糸

Kizuna Music Fes vol.7

魂の唄  
BIG MAMA YUKA  
亀渕友香  
with 鬼武みゆき LIVE

### 〈山口きずな音楽祭〉

室町時代、「西の京」として栄華を誇る山口へ宣教師フランシスコ＝サビエルが来山。当主大内義隆は、サビエルの布教の願いを受け入れ、1552年12月9日、山口の地で降誕祭が行われました。これが日本で初めてクリスマスが祝われた日と記録されています。応仁の乱以降、京都が荒廃する中で、大内氏は、雪舟をはじめ多くの文化人を庇護し、当時の日本文化の伝統を引き継ぎ、新たな文化を創造する役割を果たしました。

「山口きずな音楽祭」は、その歴史に学び、新しいものとの融和をはかりながら、きずなを尊ぶ寛容なところを、音楽を通じて伝えることを目的とし、今年で7年目を迎えます。



## 亀渕友香

「BIG MAMA YUKA」と呼ばれる日本のゴスペルシンガーの第一人者、ヴォイストレーナー。1944年北海道札幌生まれ、東京育ち。小学校の時、マヘリア・ジャクソン出演映画『真夏の夜のジャズ』を観て、彼女の歌声に衝撃を受け涙を流す。東京音楽音楽専門学校(現・昭和音大)オペラ科を卒業。バーバラ・コブに専門ゴスペルを、ウィリアム・パッキンハイムに発声学、カーマイン・カルソにジャズ理論及び演奏形態を学ぶ。ヴォイストレーナーとして久保田利伸、倅田來未、SPEED、MISIA、露崎春女(Lyrico)、Max、和田アキ子他、数多くのミュージシャンや俳優、声優を指導する。



鬼武みゆき

(コンポーザー・アレンジャー・ピアニスト)

1987年、東京理科大学理学部数学科卒業。

6枚のオリジナルアルバムを発表。小栗康平監督映画「埋もれ木」の挿入歌作曲、母校東京理科大学の第二校歌「未来への約束」作曲、マレーシア・ナショナル・シンフォニー・オーケストラのオーケストレーションを手がけたりと、益々コンポーザー、アレンジャーとしての真価が発揮されている。ジャーナリスト・鳥越俊太郎、写真家・森日出夫など、様々な分野とのコラボレーションも積極的に行い、ジャンルを越え国内外で幅広く活動中。2012年より3年間36作品、インターネット配信した「1 minute piece "Happiness is ... (私の幸せ)"」は、大きな話題を呼んでいる。現代を生きる私達に元氣と安らぎを与えてくれるアーティスト。

[www.onitake.com](http://www.onitake.com)